

資格加算申告書

必要事項を自筆で記入し、第二次試験筆記試験日に必ず持参してください。

受験番号		氏名		生年月日 (和暦)	
------	--	----	--	--------------	--

保有している資格について、該当の資格名の口に✓をつけ、取得年月を記入してください。

試験区分(※1)	加算対象資格及び確認資料	取得年月(和暦)
社会人(土木) キャリア・リターン(土木)	☐ 技術士 (確認資料:登録証、登録証明書 ※2)	年 月
	☐ 1級土木施工管理技士 (確認資料:技術検定合格証明書等)	年 月
	☐ 1級造園施工管理技士 (確認資料:技術検定合格証明書等)	年 月
社会人(建築) キャリア・リターン(建築)	☐ 一級建築士 (確認資料:免許証、免許証明書 ※2)	年 月
	☐ 1級建築施工管理技士 (確認資料:技術検定合格証明書等)	年 月
社会人(設備) キャリア・リターン(設備)	☐ 技術士 (確認資料:登録証、登録証明書 ※2)	年 月
	☐ 第一種電気主任技術者 (確認資料:電気主任技術者免状 ※2)	年 月
	☐ 第二種電気主任技術者 (確認資料:電気主任技術者免状 ※2)	年 月
	☐ 建築設備士 (確認資料:登録証、登録証明書 ※2)	年 月

※1 土木は、農学・造園を含む。

※2 技術士、一級建築士、第一種電気主任技術者、第二種電気主任技術者及び建築設備士については、第二次試験筆記試験日まで登録を受けていること。

証明書類に記載されている 氏名が旧姓の場合	☐ 現在の姓に変わったことを証明できる書類 (確認資料:戸籍抄本等)
--------------------------	--

- 第二次試験筆記試験日に、提出(提示)が必要な書類は次のとおりです。
 - (1) 資格加算申告書(提出)
 - (2) 取得した資格の証明書等の原本(提示)
 - (3) 取得した資格の証明書等のコピー(提出)
- 上記(1)～(3)の必要書類の提出(提示)がない場合や、資格を保有していることが確認できなかった場合は、資格による加算を行いません。(受験はできます。)
- 上記(3)の取得した資格の証明書等のコピーについては、A4サイズのコピー用紙(白色普通紙)に印刷のうえ、右上に黒色ボールペン(文字が消せるボールペンは不可)で受験番号と氏名を記入してください。
原本がA4サイズでない場合も、印刷倍率を設定し、A4サイズで印刷してください。